

第69号紙面構成
【第1面】特集／坂城千曲薪能
【第2面】活動報告／戸上中特別授業【第3面】行政・社会／千曲市&坂城町総合防災訓練【第4面～5面】特別紙面【第6面】学校／千曲坂城クラブ【第7～9面】地域・トピックス／センター祭・ものづくりフェア・山の生活体験【第10～11面】連載・カルチャー／新連載【第12面】スポーツ／フットサル・ポアルース長野ほか

千曲坂城地域 市民広報紙

ちくま未来新聞

編集発行 一般社団法人ちくま未来戦略研究機構 編集 白石茂樹
〒387-0012 長野県千曲市大字桜堂 521-1 TEL・FAX 026-214-7905 mail:info@ckm-mirai.org



10月の花 ガーベラ 大千本槍



地球の水と空気をもっときれいに
株式会社長野セラミックス

坂城で幽玄の舞台
第5回 坂城・千曲薪能
坂城能楽教室の子どもたちも披露

火入れ式と奉納鍛錬も復活

坂城町文化センター体育館で8月23日、能と狂言の世界を堪能する「第5回坂城・千曲薪能」が3年ぶりに開催された。この催しはこれまで「坂城びんぐしの里薪能」として坂城町びんぐしの里公園を舞台に行われてきたもの。千曲市からの参加者もいるため今回から名称を変更した。能楽愛好者らでつくる坂城・千曲薪能実行委員会が主催。冷房が完備された体育館に県内外から詰めかけた300人を超える観客が非日常の舞台に引き込まれ、伝統芸能の幽玄なひとときを堪能した。



第一部では坂城能楽教室に通う子どもによる仕舞と連吟「狸々」を披露。第二部では前回2022年には悪天候のため取りやめた厳かな火入れ式と、宮入小左衛門行平氏による迫力のある奉納鍛錬が8年ぶりに執り行われた。その後、野村裕基氏主演の狂言「茶壺」、松木千俊氏主演の能「船弁慶」と続いた。
坂城町の山村弘町長は「上田や長野の薪能は今年で終わると聞か、坂城・千曲薪能は続けていきたい。これからも能などの古典文化芸能を知り、学ぶことを大切にしていく」と述べた。

今月のちくま百景



清泉大学農学部プレオープンキャンパス
(信州の幸あんずホール)

令和9年度の農学部開学を目指す清泉大学は9月20日、千曲市でプレオープンキャンパスを開催した。オープニングで清泉大学の田村俊輔学長は大学の歴史を紹介し「千曲市の皆さんに『清泉大学が来てくれてよかった』と思っていただけるように準備を進めております」と語った。会場では市民説明会と農学等に関する講演が行われた。入場者は300人ほどで小中学生や高校生らが模擬授業や科学実験、VRゴーグルなどを体験した。インナーコリドーには市内の食品加工や発酵・醸造の企業などがブースを出展しPRした。



オープニングセレモニーの田村学長と小川市長(写真下)

仕舞と連吟「狸々」(写真上)
能「船弁慶」(写真下)



第一部で仕舞を披露した坂城能楽教室の宇野香澄さん(22)は「多くの観客の前でとても気持ちよく演技ができた。歌うことも舞うことも好きで、『能』は私の好きが集まったもの」と満足げに話した。
長野市から来た40代の女性は「狂言はおもしろく、能を舞う演者の繊細な動きが素晴らしい。地域に能の文化が息づいていて、これからも続いてほしい」と話していた。

高校再編問題 屋代南・松代・更農
第8回懇話会 校地検討部会の委員が決定



3カ月ぶりの懇話会開催(篠ノ井会場)
旧第4通学区3校(屋代南高校、松代高校、更農農業高校)の第8回千曲総合技術新校再編実施計画懇話会が8月25日、篠ノ井交流センターで開催された。初めに事務局から新しい学びのイメージの策定スケジュールが提示され、前回5月の懇話会の後、7月24日に信州大学の森下孟准教授が3校の生徒と意見交換したことなどが説明された。その後、DXに関する学びについての意見交換に移り、茨城県等間市の県立IT未来高等学校(令和5年開校)への視察内容を報告。これらを受けて新校の「学びのイメージ・育てたい生徒像・目指す学校像」の事務局原案が提示され「農業×商業×家庭科」という基本コンセプトを懇話会の構成員に説明した(写真)。3校の生徒代表も意見発表を行った。
総合技術新校の校地検討の進め方は？
懸案の新校の校地については検討部会の構成員が初めて発表された。3校の校長と長野市、千曲市、坂城町の教育長のほか、地域代表として長野市篠ノ井地区、松代地区、千曲市から1人ずつと県長野地域振興局長が選ばれた(懇話会の藤本座長も学識経験者として加わる)。第1回の検討部会は次回懇話会の前に行うが日程はともに現時点で未定。懇話会とは別の日時になる可能性もあるとのことだ。【第5面・特別紙面に関連記事】



ラウム戸倉宿 2025
秋の酒蔵市
10/18(土)10:00~16:00
10/19(日)10:00~15:00
クラフト&アート 食&酒
その場で当たる! 抽選会
この新聞広告ご提示のお客様(1回) アンケートにお答えのお客様(1回) 会場商品購入(3枚で1回)
主催:酒蔵市実行委員会
菅アートコンペ 2025
Kaya Art Competition 2025 Exhibition
10/5(日)~10/26(日) 9:00~17:00
※10/15(水)は休場、最終日は13:00迄
アートギャラリーBlanc・画廊・昭和蔵
10/5(日) 午後3時より授賞式
午後6時より10周年記念チャリティーコンサート
10/26(日)午前11時~クローズングパーティ・賞賛(観客人気投票) 授賞式
主催:菅アートコンペ2025実行委員会
金子三勇士
KAC2025大賞作品
raum 戸倉宿
tel 026-276-7205 web www.sakagura.co.jp
〒389-0804千曲市大字戸倉1855-1
酒蔵市 @AKYASOBA
チャリティーコンサート @昭和蔵

募集 乗務員 大型・中型・構内リフト (千曲市・長野市)
Shinriku シンリクグループ
おねがーい!
シンリクゼン
安全輸送
信濃陸送株式会社 有限会社シンリク観光
物流 026-273-3601
観光 026-273-1122 タクシー 026-273-2200
〒387-0001 千曲市大字南宮663-5 イーフーフ エンマン

ケーブルネット千曲 10月のおススメ

株式会社 信州ケーブルテレビジョン

ケーブルネット千曲 12ch 放送日程		
うんどうかい 特集		
あかね 10月16日 10:00/19:00	あんずのさと 10月17日 10:00/19:00	やわら 10月19日 10:00/19:00
どくおふん 10月23日 10:00/19:00	やしお 10月24日 10:00/19:00	いらいま くらさき 10月25日 10:00/19:00
さか 10月26日 10:00/19:00	くいでけ 10月30日 10:00/19:00	かみやま 10月31日 10:00/19:00
ケーブルネット千曲 GUIDE 毎月1日新聞折り込み 信州ケーブルテレビジョン ☎ 026-272-1660		

我々ちくま未来戦略研究機構の「まちづくり事業部門」では地域社会貢献活動の企画提案および実行支援を行ってまいりました。近年は行政だけが公共政策を担うのではなく、住民や団体、企業など地域で暮らす全ての人たちが協力し合い、それぞれの特徴を生かす「協働」による、よりきめ細かな公共サービスの実現が求められています。

千曲市では定期的に市民に向けて「パブリックコメント」や協働事業提案の募集を行っています。パブリックコメントは行政が基本的な施策などの策定にあたり意思決定の前に、広く市民からの意見を集めて反映させることを目的とするものです。しかし、千曲市では市民からの応募が少ない案件も多く、あまり認知度が高まっているようには見えないのが現状です。また、協働事業も特定の団体からの応募に集中する傾向もあり、より一層の市民参加の機運醸成が求められていると言えます。

今後当機構では機構の会員はもとより、ちくま未来新聞読者の皆様に広く行政の施策への意見表明の場に参加を呼びかけます。現在募集中の案件を紹介しますので、ぜひ市民の生の声を届けてください。



(一社) ちくま未来戦略研究機構

市民からの意見表明に参加を



◆第四次千曲市総合計画策定方針(案)のパブリックコメント
自治体の5年間の指針となる総合計画。令和8年度までの「第三次千曲市総合計画」に続く「第四次総合計画」に市民の考えを反映するため、策定方針(案)を公開し、広く意見を募集するもの。

◆千曲市協働事業提案制度
地域や社会の公共的課題に対し、行政と共に市民や民間団体が住みよいまちづくりを目指す協働事業の提案を求めています。

【募集期間】11月19日(水)まで
詳細は千曲市HPまで

①第三回・千曲坂城山城狼煙リレーに向けて千曲市と坂城町の5つの山城整備団体(民間4団体と千曲市山城史跡公園)でチラシを制作。各団体で配布を行った。今回は初めて坂城町の団体(和合城保存会)が参加する。10月12日午前9時に坂城町南端の和合城からスタートし、20分程で最終の小坂城まで狼煙をリレーしていく。屋代城では狼煙上げの実施地点の山頂で先着50人に戦国武将「屋代秀正」の頭をプレゼントする予定。

②「漫画で読む家康の軍師・屋代秀正」は現在好評発売中。市内書店(屋代西沢書店、平安堂更殖店)で取り扱いあり。価格は本体価格1500円。

③一重山みらい会議では9月21日、定例作業を実施した。小谷村から林家の北村健一氏を招き、伐採した丸太を引き上げて製材のワークショップを実施した(写真)。

丸太はその場で加工して矢代神社前の見晴らし小屋隣にベンチとして設置した。同日午後にはみらい会議の理事会も開催し、今後の予定を協議した。

訃報

利根川昭彦(とねがわ・あきひこ)氏(一社)ちくま未来戦略研究機構理事・戸倉上山田温泉万葉超音波温泉株式会社(千曲市磯部1125)代表取締役が9月1日死去、67歳。

謹んでお悔やみ申し上げます

ちくま未来新聞より

戸倉上山田中学校
3年生の地域学習に協力

ちくま未来新聞では8月26日、今年度の総合的な学習で地域の地域やウェルビーイングについての学びを行っている戸倉上山田中学校の3年生の皆さん(3組と一部5組)の特別授業の講師を務めさせていただきました。冒頭ではこれまでの千曲市の合併での成り立ちを説明し、様々な歴史や文化のある各地域で活動している多くの団体について紹介。今回は特に戸上中の各地区(戸倉・上山田・更級・五加)で取材した記事からその活動内容を取り上げました。また12月7日に第4回の開催を予定している「ちくま検定」から何問かクイズ形式で問題を出題し、生徒たちに挑戦してもらいました(下段写真・使用した資料)。

終盤の質疑応答の時間では

「千曲市の第一次産業で魅力的だと思えるものは何か」や「戸倉上山田地区がまちづくり計画」についての質問などがあり、戸上中の生徒の学習意欲と調査能力の高さには驚かされた【関連記事8面】。

今回貴重な機会を与えていただいた若林政徳教諭と青木義光教諭に感謝申し上げます。

ちくま論説

さらにはズーム

▼今年9月以降千曲市上空での軍用ヘリコプターの飛行が相次いでいる。掲載写真はいずれも屋代で撮影したもので、有明山上空を南北に往復するケースが多いようだ。問題は飛行高度で左側写真の下に写っているのは森將軍塚古墳だが、その低空飛行ぶりが見て取れる。▼機影から判断するに機体はUH60ブラックホーク多用途ヘリコプターとみられる。国籍マークや機体記号が確認できず、在日米軍機か自衛隊所属機なのか現時点では断定できない。だが、最近上田市や松本市など県内各地で米軍機の低空飛行が目撃されており、その可能性は高いと思われる。▼長野県内には米軍基地・施設は存在しないが、アメリカの管制下にある横田空域が県内上空の一部を占めている。今年3月には松本空港への米軍機オスプレイの緊急着陸もあった。8月に全国知事会会長に就任した阿部知事には国内の空の安全確保についてリーダーシップを発揮してもらいたい。(W・S)

未来戦略広場

十文字風

当紙ではみなさまからの「未来戦略・提言」を広く募集しています。文章量は150~200字程度でお願いします。匿名やペンネームも承りますが、必ずお住まいの地域をご明示下さいますようお願いいたします。
【メールアドレス】
info@ckm-mirai.org
【FAX】026-214-7905

ちくま検定

「ちくま未来」に関する知識を競う検定。今年度は「ちくま未来」の発展をテーマに、千曲市の歴史や文化、自然環境などについて出題する予定です。詳しくは「ちくま未来」のウェブサイトをご覧ください。



写真右：9月20日撮影
写真左：9月21日撮影



UH60ブラックホークとみられる機体
両脇に見えるのはミサイルではなく増槽(燃料タンク)

第3回 千曲坂城山城 狼煙リレー

今年は坂城町の和合城から はじまります!

10/12日 9:00開始 軽

荒砥城(上山田) 屋代城(屋代) 小坂城(桑原)

9:00 和合城 坂城
9:05 入山城 新山
9:10 荒砥城 上山田温泉
9:15 屋代城 屋代
9:20 小坂城 桑原
5城一斉

未来への夢と希望を創造する ちくま未来戦略サロン特別講演会



講師 前国土交通省事務次官
和田 信 貴 様

1964年千曲市八幡出身。埼玉県立浦和高校を経て1987年東京大学法学部卒業。同年建設省入省。爾来我が国の国土交通行政に一貫して従事。2023年7月には国土交通省管理職トップである事務次官に就任。昨年退官。

【日時】 10月25日(土)
◆講演&質疑午後2時~4時
◆受付開場 午後1時から

【会場】 千曲市役所3階301会議室

【定員】 先着140名

【聴講】 無料

【お申込み・お問合せ】
TEL・FAX 026-214-7905
Mail info@ckm-mirai.org

【主催】(一社)ちくま未来戦略研究機構
【共催】千曲市、千曲商工会議所、戸倉上山田商工会
【特別協賛】北野建設㈱

私たちの暮らしを支える道路・河川・鉄道・水道・住宅などの生活基盤整備を担う国土交通行政に一貫して携わってきた前国土交通省事務次官の和田信貴様(千曲市出身)を講師にお迎え。千曲市内における国土交通政策の展開などについてお話を聞きます。

坂城町

千曲市

大地震を想定した
令和7年度総合防災訓練

関東大震災が発生した9月1日の「防災の日」前後に全国の自治体で防災訓練が行われた。坂城町は8月31日、令和7年度町総合防災訓練を実施。南海トラフで大地震が発生した想定で緊急速報メールを配信し、坂城地区各自主防災会などが今年度メイン会場となった坂城小学校へ避難。約300人が参加した。昨年は前日の雨で実施されなかったグラウンドでの建物等がれき撤去訓練（人命救助）を実施。水防訓練（土のう作成）やドローンによる空撮、火災を想定した消防団の放水訓練も行った。体育館内では避難所の設営と応急手当の訓練を体験した。また、今年

団体により飼い犬や飼い猫の避難所への同行について飼い主が準備しておくべきことやペットの防災手帳などの情報が提供された。

一方、千曲市は埴生中学校が今年度の総合防災訓練の会場となった。訓練日の9月7日は、糸魚川静岡構造線でM7.7の地震が発生、県内でも震度6強を観測した想定で実施。家屋や河川堤防の損壊のほか台風も接近中という状況に対応する各種訓練が行われた。校庭では千曲坂城消防本部による車両救出訓練のほか、はしご車を使った高所救出訓練を実施し、大勢の参加者が見学した。今年4月には長野県内で震度5弱の強い地震も観測されており、大地震への備えが求められている。



坂城町総合防災訓練



千曲市総合防災訓練

午後からはグループワークに移り、講師と市内の保育園で勤務する現役の保育士が相談を受け付け、アドバイスをしたり受講者の質問に答えたりした。



**長野県社会福祉協議会
潜在保育士の研修を開催**
長野県社会福祉協議会の長野県保育士・保育所支援センターは9月3日、信州の幸あんずホールで保育士向けの研修会を開催した。同支援センターでは保育士と県内保育施設とのマッチングを行っている。この研修会は再就職を希望する保育士や保育の仕事に興味を持つ人を支援する目的で、県内4会場で行われたもの。今回北信会場となった千曲市の会場では長野県立大学の小笠原明子准教授が「潜在保育士研修」と題して講義をした（写真）。受講者は最新の保育事情や就業への心構えなどを学んだ。



坂城保育園で贈呈式を行った関哲哉さんと東日本大震災の実話をもとにした防災の絵本（写真提供・坂城町企画政策課）

坂城消防署 関哲哉さんが絵本を贈呈
千曲坂城消防本部（坂城消防署）に勤務する関哲哉さんが坂城町に防災に関する絵本の贈呈を行った。今回寄贈された絵本は町内3つの保育園と子育て支援センターの合計4冊分。関さんは消防署勤務の傍らプロボクシングのライセンスを取得し、一昨年は最初で最後のプロの試合でのファイトマネーを千曲市に寄付した。現在も長野市のNPO法人で子どもたちにボクシングを通じて健康づくりの活動を行っている。

坂城町新複合施設建設予定地で
発掘調査を実施

坂城町中之条に保健センターや福祉センターなどを集約し、一体化する新複合施設の建設予定地で発掘調査が行われている。この地域は埋蔵文化財の宝庫とされ、過去に奈良時代から平安時代にかけての住居跡「開畝遺跡」が発掘されており、新複合施設の建設に伴い8月末から調査が始まった。現在は試掘によって住居跡とみられる遺構を確認中で、今後発掘した石器や土器などを回収して町の文化財センターで保存する計画。住居跡は新施設の建築で解体されてしまうため、測量を行い図面を保存するという。発掘調査期間は12月26日まで。



発掘現場の様子

坂城町の新複合施設の敷地面積は1万4567㎡。今年度は建物の実施設計などが進められていて、令和9年度に供用開始となる予定。

秋の交通安全運動&交通安全章・緑十字銅章

9月21日から秋の全国交通安全運動がスタート。坂城町の田町交差点では19日に千曲交通安全協会坂城支部が参加し街頭啓発が行われた。22日には千曲市役所駐車場での啓発の後、市役所前交差点と屋代工業団地交差点で安協屋代支部などによる街頭啓発が実施された。同交差点では警察犬や保護犬も参加した。

同日、千曲署では交通安全章「緑十字銅章」の伝達式を実施した（交通安全功労者・優良安全運転管理者・優良運転者）。受章者は以下の通り。中條聖命さん（森）、柄澤正樹さん（長野市茂菅・（株）ニースト勤務）、高木敏行さん（八幡・信濃陸送（株）勤務）。他1名欠席。



緑十字銅章表彰



屋代工業団地交差点付近

ほふく救出で全国6位

8月30日に兵庫県で行われた第53回全国消防救助技術大会に長野県代表として出場した千曲坂城消防本部の隊員らが小川市長を表彰訪問した。陸上の部「ほふく救出」で6位入賞を果たしたのは竹本宏典さん、西村潤さん、砂川嶺さん。「ほふく救出」は救助者役を含め3人1組で1人が空気呼吸器を身に付けて長さ8mの円筒内を捜索し、要救助者を屋外に救出した後、2人で安全地点まで搬送するもの。技術の正確さとスピードを競う。



大会に出場した3人の隊員
中央左から竹本宏典さん、
西村潤さん、砂川嶺さん
（写真提供・千曲市秘書広報課）

“もったいない”から“ありがとう”へ

食品・日用品

大募集

第13回 フードドライブ

日時：令和7年10月21日(火)10:00~13:00
場所：千曲市役所庁舎 南側駐車場

【寄付していただきたい食品・日用品】

缶詰、カップ麺、レトルト食品、乾麺、お米、根菜
トイレトペーパー、洗剤、タオル など

- ★寄付いただく食品は、次の条件を満たす食品とさせていただきます
- 賞味期限が明記され、1カ月以上あるもの
 - 未開封のもの
 - 包装や外装が破損していないもの
 - 生鮮食品以外のもの
 - お米は「古米」まで

持ち寄っていただいた食品、日用品は、必要としている困窮世帯にお届けします。

【主催】更埴ライオンズクラブ【後援】千曲市・千曲市社会福祉協議会

【問い合わせ先】10:00~14:00 TEL 026-272-4500 mail:k.1c@cap.ocn.ne.jp

※当日お持ちになれない方、年間を通して更埴ライオンズクラブで予約ができます。（みんなの冷蔵庫ちくま）左記に「連絡ください」。
<http://minano-reizoku.com/>

地域に残る山城と
屋代秀正の一生

令和7年
11/24
月・祝
15:00~16:30
(受付14:00~)



当日会場にて本の
即売を行います(会場
価格1,500円)

会場 | 千曲商工会議所2F(千曲市杭瀬下3-9)
参加費 | 1,000円
定員 | 100名(先着順)※申込みは不要です

講師 | 村石 正行 先生
1971年 長野県生まれ。
慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了。博士(史学)。現在、
長野県立歴史館文庫史料課長。



今、語られる
屋代氏

主催 / 一重山みらい会議、一般社団法人ちくま未来戦略研究機構 後援 / 千曲商工会議所
お問い合わせ / 026-272-2174 (屋代西沢書店)

特集①

「屋代スマートインターC」
(仮称) 周辺施設の未来

インターチェンジ

★「覚悟」を決めて千曲市と市民らで作ろう

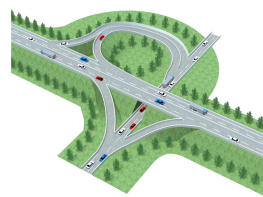
「屋代スマートインターチェンジ」(仮称)の計画概要が千曲市から発表された。国土交通省道路局と千曲市は上信越自動車道へのスマートインターチェンジ(IC)の設置を関係機関と連携して進めていく。

この計画は令和5年9月8日、「屋代スマートIC新規事業化」として全国のスマートICの計画の一つとして事業認可された。概要は、関越自動車道上越線(上信越自動車道)で、位置は千曲市屋代地内、運用形態はフルインター形式、運用車種はETC車載器を搭載した全車種、

運用時間は24時間となっている。

千曲市東部地域の屋代、森、倉科、雨宮、生萱には「地の利と利便性」への期待が持てる。ただ屋代スマートICへのアクセス道路が整備されて、周辺施設の利用が活性化されないとスマートICを設置した意義が薄れてしまうだろう。

千曲市は屋代スマートIC周辺の交通拠点や関連施設の整備について市民をはじめ民間事業者などから意見や事業アイデアを聞く「サウンディング調査」を実施した。この聞き取り調査は、コンサルタント用語なのか分かりにくい。「聞き取り調



査」で十分だろう。

この調査は千曲市公民共創推進室と株式会社オリエンタルコンサルタンツ(東京都渋谷区)が担当している。8月23日に市民からの意見を聞く機会が設けられ、記者も参加した。市民ら約20人が参加し、5、6人で3つのグループに分かれて「どういった施設が必要か」「市民が必要なのは何か」といった意見が出されて、終了後、グループごとに発表した。

こうした機会は大事だが、果たしてコンサルタントに委託する必要があるのか、市の担当職員が地元自治会などの協力を得て、若い層から中堅、高齢者までの男女の意見を広く聞く方法もできたのではないかと、

「3歳と0歳の小さい子供がおり、気軽に遊ぶことができる施設がほしい」といった他県から移住してきた主婦の意見はなるほどと思った。一方で、戸倉、上山田からの参加者は「どんな意見が出るか関心があつた。ただ上山田の住民の多くは、このスマートICへの関心は薄い」と本音の声もあった。

「屋代スマートIC」周辺施設の未来はどう描くか。コンサルタントにすでに委託しているならば、徹底的に活用して、「覚悟」を決めて千曲市と市民らで考えて練って計画を作り上げていくべきではないだろうか。現場をよく見て、想像力を働かせて知恵を出していければ良いと思う。

★地方創生を「コンサル」頼みでいいの

地方創生の「旗振り役」である政府の「まち・ひと・しごと総合戦略本部」。ここが策定した基本計画に基づき、全国の都道府県や市町村は地域戦略づくりに取り組んできた。予算が「補助金」として各自自治体に拠出され、そこから戦略づくり、計画書づくり、委員会の事務局など、机上のデータ取得作業から現場の意見を聞く委員会の企画運営まで、ほぼすべてがコンサルタント任せとなった。

「役所のスタッフだけではできない」「人もノウハウもない」。行政側はできない理由を並べる。千曲市の今回のケースはどうだろうか。委託したコンサルタントは地域に住んで、意見を細かく聞き、最終的な完成まで面倒を見てくれるわけではないだろう。

多くのケースを聞くと、自治体職員が地域の未来を描くことの責任を棚上げして、コンサルタントという「専門家」に丸投げしているに過ぎない。結果、各地で似たような「計画」ができていく。

「当事者の責任」と「地域の覚悟」が欠けていると、机上でつくられた報告書だけが棚に並び、現場には何も残らない。補助金と委託費、税金も中央に持っていわれて、地域には「失望」と「無念さ」だけが残る。これが何度も繰り返されてきたことを千曲市民はもっと知ってほしい。

(本紙特任記者・中澤幸彦)



スマートICと接続する「重山2号線」の建設現場(白石千曲線合流付近)

千曲市と東日本高速道路株式会社

(NEXCO東日本)

連携と共創に関する協定締結

千曲市役所で8月27日、千曲市と東日本高速道路(株)NEXCO東日本の連携と共創に関する協定締結式が執り行われた。協定の主な内容は現在、(仮称)屋代スマートICの近くに設置が予定されているモーター・コネクティブ点(交通拠点)および周辺の整備・利用促進や、スマートICの利用促進等となっている。

式には小川市長と、東日本高速道路(株)関東支社の岸田正博長野管理事務所長および山岸睦功長野工事事務所長が出席。小川市長は「観光・産業・物流などでチャンスを生み出し千曲市の未来を切り開いていきたい」と述べた。



協定締結式

(写真提供・千曲市秘書広報課)

TAKASAKI

自動車用端子で未来をつなぐ

世界に羽ばたく TAKASAKI QUALITY

最先端のマーケットで求められる技術開発への挑戦

正社員募集

募集職種

製造

金型設計・金型管理

電気設計・機械設計

社内製作自動機設計

業務内容 ■自動車用ワイヤーハーネススタシ及び自動車用電装部品、精密金型設計製作、各種自動省力化設備設計製作

勤務地 ■本社工場、千曲工場

給与 ■当社規定による

勤務時間 ■8:20~17:15(交替勤務の場合あり)

従業員数 ■98名

休日休暇 ■週休2日制、年間休日120日

福利厚生 ■各種社会保険、育児休業制度、財形貯蓄制度、退職金制度

一次選考は書類審査となりますので、まずは下記まで履歴書をご郵送ください。
本社 ■〒387-0007 千曲市大字屋代2810 ☎026-272-0669 E-mail:info@tp-takasaki.co.jp



株式会社 高崎製作所



本社工場 ■〒387-0007 千曲市大字屋代2810 千曲工場 ■〒387-0015 千曲市大字鏡物師屋171-2

文化の進運とともに、これからも

大日本法令印刷株式会社

長野県長野市中御所 3-6-25 https://www.hourei.co.jp

特集② 長電バス・屋代須坂線バス事業見直し

◆市民の交通手段の確保は？



8月12日、長野県公共交通活性化協議会の長野地域部会で「屋代須坂線の見直し」が議題にあげられ、長電バスの鈴木立彦社長は「減便、もしくは撤退をお願いしたい」と発言した。屋代駅から須坂駅までの24・4km区間は平成24年(2012)に長野電鉄屋代線が廃止。代替交通手段として長電バスが運行を開始することとなったもの。しかし、路線住民の利用は減少傾向にあり、昨年8月に長電バスは「利用者の減少と運転手不足」から屋代駅行き、須坂駅行き共に減便を実施した。かつて13の駅があった千曲川東側の河東地域では現在屋代行き、須坂行き共に平日15便が運行中だ。3市

にまたがる同路線上には県立高校が6校存在し、乗客は中高生ら通学での利用が約7割を占めている。事業者側から同路線の撤退に言及するのは今回が初めてで、部会では学校関係者から懸念を示す意見が相次いだ。高校再編問題にも影響が

千曲市内では屋代南高校前と屋代高校前にそれぞれ同路線のバス停留所が設置されている。8月25日に開催された県立高校の再編実施計画懇話会の席上で、地域代表の構成員を務める赤地憲一氏から屋代須坂線事業見直しについて発言があり「非常に衝撃的。どうしてこんなことを急に発表するのか」と県の対応を質した。同懇話会の構成員で県公共交

通活性化協議会長野地域部会の構成員も務める県長野地域振興局・坪井俊文局長は「基本的には通学・通院の足を守るということをやっており検討中」として、地域部会の席での発言と同じく「中学生の進路選択時期の10月をめぐり方向性を示したい」と答えた。【関連記事1面】

地域内の高校では懸念を共有 現在県長野地域振興局では各高校に対して利用状況の調査を実施中。中間集計で屋代高校は30人強、屋代南高校は10人強の利用が確認されているという。北信地区高等学校長会の会長を務める屋代高校の馬場正一校長は「屋代高校では以前から長電バスに朝のHRに間に合うようダイヤを改正してもらっている。ま

ず朝の通学の足を確保してほしい」と訴える。今年6月には北信地区高等学校校長会と北信高等学校PTA連合会との連名で「高校生の通学手段確保に関する要請書」を提出。等しく教育を受ける機会の保障を訴えている。この要請は牟礼線など長野市

内ほかのバス路線の廃止に伴い再考と代替交通手段の導入を求めるものだったが、そのさなかに新たに屋代須坂線の見直しが表面化したことに困惑しているという。各学校で特色ある教育を実践しているなか「通学手段が確保できないことで選択肢から外れてしまうと、教育を受ける機会の保障という理念が損なわれかねない。広く社会の課題として考えていただかないといけない」と語った。また、自身も松代地区出身という馬場校長は「松代高校は千曲市方面から通う生徒も多い。より影響が大きいのではないかと指摘する。長電バスの厳しい事情

一方の事業所側の事情も深刻だ。昨年の減便に際し、屋代地区で住民説明会にもあった長電バス(株)乗用部長の大石真一氏は取材に対し「見直しの一番の要因は運転手不足より何より乗降客が少ないこと」と話す。須坂・松代間の日中の乗客は2人だけという日もあるという。千曲市内土口区間の運行についても「土口経由の便をせひ残してほしい」という要望から存続しているが殆ど利用者がいない。道幅も狭く危険なルートで、誰も乗客のいない状態で

運転する運転手のモチベーションも考慮してほしい」と嘆いている。巨大商業施設は救世主となるか 一方で乗客増が期待される路線も存在する。須坂長野東IC近くには「イオンモール須坂」が10月3日開業予定。北側エリアにはホームセンターと家電量販店が融合する「アイスクエア須坂」もオープン済みで、大変な賑わいを見せている。長野駅から須坂駅まで直結する長電バスの須坂屋島線は「イオンモール須坂」への乗り入れを開始。ダイヤの増便も計画しているという。屋代須坂線も9月26日から須坂長野東ICの停留所を移設しイオンモール須坂を経由することとなった。買い物客やインバウンドで屋代須坂線への波及効果はないのだろうか？だが長電バス側は「長野市中心部からはともかく松代や千曲市方面からの乗客が大幅に増えるとは考えにくい(大石部長)」と懐疑的なようだ。

自治体に求められる負担は 屋代須坂線事業見直しについて千曲市の小川市長は「どういった支援が必要なのか。千曲市だけでは難しいので他の市とも連携していきたい」と話す。今年、長野市内6つのバス路線廃止では代替交通機関の確保に向けて、県と市の6月議会で補正予算が組まれた。自治体の財政にも関わる大きな課題となりそうだ。

(取材と文・白石茂樹)



地元住民の生活の足として利用されている屋代須坂線
通学以外でも高齢者にとっては松代病院への通院などで
代替の利かないバス路線だ (屋代駅前バス停で撮影)



東屋代駅跡地広場(屋代線の
運行当時は主に松代方面から
屋代高校への通学に利用された)

東屋代駅跡地広場(屋代線の運行当時は主に松代方面から屋代高校への通学に利用された)



旧松代駅舎前で待機中の長電バス

商工会議所/商工会
共済・福祉制度
推進スタッフ募集

誰だって最初は
未経験者だった

ほとんどのスタッフは未経験からのスタート。
きめ細かい研修制度でしっかりサポートします。

【業務内容】
1)商工会議所/商工会会員企業に対する生命保険による
従業員の福利厚生制度(退職金・弔慰金)、経営リスク
管理・事業継承のコンサルティング営業
2)個人のライフマネジメント®に基づく、資産形成などの
アドバイスや保険設計
【雇用形態】正社員(試用期間なし)
【給与】
経験・能力等を考慮の上優遇
月給:36万・30万・24万・21万・18万の固定給+業績給、
賞与年2回
入社後、3年間の一貫した研修カリキュラムで社員の
育成を行います。
【応募方法】
下記へ電話連絡のうえ、履歴書持参でご来社ください。

アクサ生命保険株式会社 長野支社 上田営業所
386-0024上田市大手1-10-22
上田商工議所会館 2F0268-22-3164
(担当 酒井)https://www.axa.co.jp/

【会社概要】
【設立】1994年7月
【従業員数】7,678名(2023年3月末時点)
【本社所在地】東京都港区白金1丁目17番3号
【資本金】850億円(2023年3月末時点)

長野県女性・若者が創る商店街賑わい創出事業！
一緒に商店街の
活性化してみませんか？

応募フォーム

★こんな人にオススメ★
・PR動画を作りたい！
・SNS運用に興味がある！
・チラシのデザインをしてみたい！etc...

商店街で実践的な学びをしませんか？
入試・就職が有利になるかも...

◆応募資格◆
千曲市在住もしくは
千曲市に通う学生
※12歳から22歳程度

主催
屋代駅前通り商店街協同組合

お問い合わせ
(一社)ちくま未来戦略研究機構 まちづくり事業部
担当:金田(かねだ)
電話:080-9179-7318

【勤務時間】9:15~17:00(実働6時間45分)
【賞与】年2回
【待遇・福利厚生】
原則として残業なし、各種社会保険完備、
弔慰金、退職金制度、介護休業制度、
育児休業制度、育児手当
【休日】完全週休2日制(土・日)、祝日、年末年始
【休暇】有給休暇:入社初年度・2年目以降とも
20日、私傷病休暇5日、夏季休暇5日
【勤務地】千曲市(千曲商工会議所)
原則転勤なし、ただし近隣エリア内で会社の定める
就業場所へ異動を命じることがある
※「ライフマネジメント®」はアクサ生命保険株式会社の
登録商標

【社会概要】
【設立】1994年7月
【従業員数】7,678名(2023年3月末時点)
【本社所在地】東京都港区白金1丁目17番3号
【資本金】850億円(2023年3月末時点)

千曲坂城クラブ 18専門部紹介
最終回

「千曲坂城クラブ」VOL.18
美術専門部



千曲坂城クラブ美術専門部では、絵画・デザイン・立体等の作品を制作したり、鑑賞したりする活動を行っています。平日は各班に分かれて活動しています。また休日は毎月2回程度、千曲市・坂城町の美術専門部のメンバーが集まり「アートまちかど」と「戸倉創造館」で合同活動を行っています。

平日の活動は、主に個人制作を行っています。個人制作では、自分のテーマで個々の表現を追求しています。また、各班のメンバーが協力して一つの作品を完成させる共同制作を行うこともあります。

休日の合同活動は、千曲市・坂城町のメンバーが集まり、制作や鑑賞活動で交流しています。制作では、同じテーマで作品制作をしながら様々な表現方法に挑戦しています。平日は別々の班で活動しているメンバーですが、互いの表現について意見交換することで、仲間の多様な表現に触れることができ、新たな表現のきっかけにもなっています。また、「アートまちかど」の活動では、開催している展覧会の作品鑑賞をして、個々に好きな作品をじっくり鑑賞したり、ギャラリートークでメンバーと意見交換をしたりしています。展覧会鑑賞は、アーティストの多様な表現に触れることができる貴重な体験になっており、地域で活躍しているアーティストを知る機会にもなっています。

クラブで制作した作品は、『千曲坂城クラブ美術専門部展』を開催し、「アートまちかど」で展示発表する予定です。

美術専門部は、制作や鑑賞活動を通して、一人ひとりが自分の感じたことや思いを大切に表現を追求しています。また、多くのメンバーと交流しながら、新たな表現の可能性を見つけています。

写真と文・千曲坂城クラブ美術専門部

千曲坂城クラブ
賛助会員
募集のご案内

すべての子どもたちにスポーツ・文化芸術環境を！
個人年会費
一口 1,000 円から
法人・団体年会費
一口 5,000 円から

詳細は右記二次元コードから



【編集部より】1年半にわたり連載してまいりました「千曲坂城クラブ18専門部紹介」は今回で終了です。お忙しいなか執筆をご了解いただいた先生方、クラブ関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ちくま未来新聞では今後も千曲市、坂城町両地域の子どもたちのスポーツと文化芸術の活動を応援していきます。



稲玉徳兵衛の再発見展

心光寺で開催



江戸時代末期、私財を投じて現在の坂城町平沢地区を開墾した村役人・稲玉徳兵衛（1822-1872）の功績を紹介する展示会が、徳兵衛の墓所がある横町の心光寺で9月12日と13日に行われた。初日には坂城小学校の4年生が郷土学習で訪れ、紙芝居で徳兵衛の生涯を学んだ。この紙芝居は17年前に当時の5年生が制作したもので、児童らは徳兵衛が開墾した土地の面積が坂城小の校庭303個分に相当する218haもあると知り、興味深く話に聞き入っていた。その後、児童らは文化財センターの学芸員や伝承会のメンバーから展示された古文書などの内容を説明された。

徳兵衛が佐久間家山から贈られた書などゆかりの品々は、現在所在がわからないものも多いという。心光寺住職で稲玉徳兵衛翁頌徳伝承会の事務局を務める塚本誠一さんは「今回の展示が徳兵衛が広く知られる第一歩になってくれたら」と話している。



稲玉徳兵衛の人形と墓所



稲玉徳兵衛に関する古文書の説明を聞く坂城小学校の児童

さかきハッピーブラス
東海小学校バンドフェスティバルに出場

第36回東海小学校バンドフェスティバルで優秀な成績を収めたさかきハッピーブラスが第29回東海小学生バンドフェスティバルへの出場を決めた。9月3日、部長の藤井レナさんと副部長の中嶋柚葉さん（ともに南条小学校6年生）が坂城町役場を訪問し、山村町長に出場報告を行った。

さかきハッピーブラスは南条小、村上小、坂城小の町内3校合同のクラブ活動で部員数は29人。今年の県大会ではステージ部門の「わくわくアドベンチャーサウンド賞」を受賞した。南条小単独での創部以降、連続で東海大会への出場を果たしている。3校合同での活動について藤井さんは「最初は仲良くするのが難しかったけれど段々誰とでもしゃべれるようになりチーム力も上がった」と話した。中嶋さんは大



（左）副部長の中嶋柚葉さん
（右）部長の藤井レナさん

第四回
ちくま検定



検定日
令和7年 12月7日 日

会場 千曲商工会議所

主催 ちくま検定実行委員会[千曲市教育委員会、千曲商工会議所、戸倉上山田商工会、(一社)科野青年会議所、(一社)信州千曲観光局、千曲市観光ボランティア楽知会、(一社)ちくま未来戦略研究機構]
後援 千曲市 協賛 戸倉上山田ロータリークラブ、更埴ロータリークラブ、戸倉上山田ライオンズクラブ、更埴ライオンズクラブ、長野電子工業㈱、フレックスジャパン㈱、㈱八光興発、㈱長野セラミックス、千曲中央病院、丸善食品工業㈱、滝沢食品㈱、長野銘醸㈱、ホテルうづらや、上山田温泉㈱、信州観光バス、更埴観光タクシー㈱、御煙山ハイヤー、寺沢印刷、㈱山の麓澤建設、㈱シナノスクリーン工芸、万葉超音波温泉、千曲市書店組合（順不同）
事務局 (一社)ちくま未来戦略研究機構 〒387-0012 千曲市桜堂 521 屋代西沢書店2階内
電話：026(214)7905 又は 090-3083-0381(柳沢)

★★ 2025 検定ご案内 ★★
■開催時間：[受付] 9:30
[検定]10:00～(90 分間)
■定員：60 名 (先着順)
■受検料：1,000 円 (中学生以下：無料)
■受検資格：制限なし
■出題範囲：「ちくま大百科 (Web)」
※QR コードからもご覧いただけます。
■申込期間：令和 7 年 10 月 20 日(月)
～11 月 9 日(日)
■応募方法：窓口受付のみ⇒事務局まで
■窓口：(一社)ちくま未来戦略研究機構
屋代西沢書店2階



第27回
千曲菊花展

会期:2025年 10月24日(金)～11月16日(日)
会場: 武水別神社境内 特設花壇

住所: 長野県千曲市八幡3012

入場無料

今年で27回を迎える、恒例の千曲菊花展が開催されます。千曲菊花愛好会の見事な創作花壇や市内の小学生が見精込めて育てた菊花が目を楽しませてくれます。ぜひ、お出かけください。お越しをお待ちしています。

主催：千曲菊花展実行委員会
協賛：千曲市、千曲商工会議所、武水別神社、千曲菊花愛好会、八幡まちづくり実行委員会
後援：千曲商工会議所八幡支部
お問い合わせ先：千曲菊花展実行委員会事務局
(千曲商工会議所内 長野県千曲市杭瀬下3-9 ☎026-272-3223)



11月2日3日
菊の苗の
販売会

さかきモノづくり展2025

10月3日から4日にかけて「さかきモノづくり展2025」が坂城テクノセンターで開催される(主催・公益財団法人さかきテクノセンター)。製造業の町・坂城を象徴するこの展示会は前身の坂城町工業展を継承するもので、2014年に坂城テクノセンターの開館20周年を機に「さかきモノづくり展」としてスタート。概ね3年に1度の間隔で開催して

おり、今年は企業33社と大学・短大や団体が参加。前回2021年の開催時はコロナ禍の影響でオンラインによる中継が主だったが、8年ぶりに会場に来場者を入れて出展企業によるプレゼンテーションや、大学教授による特別講演を実施する。期間中は町内の小中学生や坂城高校の生徒も見学に訪れ、モノづくりの技術をリアルに体験することになっている。



昨年改修工事が完了した坂城テクノセンター

第31回団地まつり

主催・テクノさかき工業団地組合

9月5日、しなの鉄道テクノさかき駅前広場を会場に第31回団地まつりが開催された。例年吉本興業から人気お笑い芸人が出演するのが恒例だが、今年のゲストは鬼越トマホークの2人。コンビの1人、良ちゃんは千曲市戸倉の出身で地元ネタを織り交ぜたトークで観客の笑いを誘った。また、坂城町出身の2人組、オーバー・ハット・ハットンもお笑いライブステージに登場した。後半のステージはブラジル出身の演歌歌手・エドアルドさんがコンサートを行い会場を歌声で魅了。ステージの間には鬼越トマホークも参加し、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会で盛り上げた。まつりのフィナーレは大きな花火大会。記録的な猛暑だった今年の夏の終わりにスターマインの連射花火が夜空を彩った。

第24回センター祭(坂城勤労者総合福祉センター)

坂城勤労者総合福祉センターで9月7日、第24回センター祭が開催された。開会式の坂口恵美子実行委員長(ポセラーツ認定講師)の挨拶からプロگرامが開始、ステージ発表と芸術作品の展示で、受講生が日ごろの成果を披露した。展示発表では水彩画や陶芸のほか、絵手紙やソープカービング(石鹸を使った彫刻)などの作品を来場者が鑑賞した。ステージにはオカリナや



ポセラーツ(磁器絵付け)



ステージ発表(バレエ)の様子



大花火大会の様子



今年のゲストは鬼越トマホーク(良ちゃん・金ちゃん)

「上山田温泉物語」

第17回

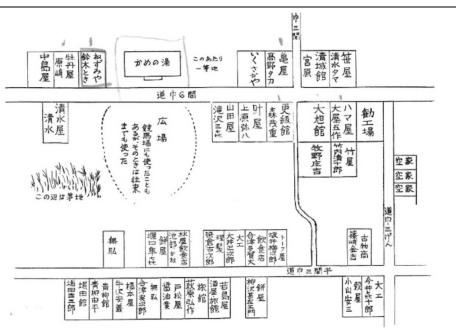
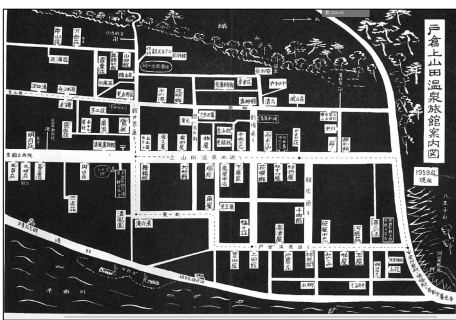
まちづくり再生への具体策を！

かつて温泉でまちづくりを成し遂げた

1960年(昭和35)2月に発行の乙部泉三郎・高野博夫共著「長野県戸倉上山田温泉のあゆみ」に、1959年(昭和34)10月現在の戸倉上山田温泉の内容が記述されている。旅館組合加盟旅館数64、企業団体等保養所5、料理飲食店58、芸妓寮数61、芸妓数47人、土産品・売店13、雑貨店化粧品店8、食料品店5、青果13、菓子17、魚・肉14、その他食品(酒・味噌・醤油・米・茶・パン・豆腐・こんにやくなど)17、薬局4、たばこ4、洋服・呉服7、履物・足袋・洋品7、時計4、ラジオ・写真4、文具・書店3、上山田温泉郵便局、八十二銀行、長野信用金庫、長野県商工信用組合(現長野銀行)、

現在まちづくりについて推進会議で議論されている、理想と同時に実行に移すには具体的な計画・投資が必要だ。

現在まちづくりについて推進会議で議論されている、理想と同時に実行に移すには具体的な計画・投資が必要だ。



(上) 温泉マップ(下) 明治38年

千曲市・坂城町の事業所の皆さま

『従業員募集』の広告を出してみませんか？

「ちくま未来新聞」は千曲市と坂城町で毎月配布している唯一の市民新聞です(5,500部)。当紙では掲載する広告を随時募集しています。千曲坂城地域の公共機関、金融機関のほか、しなの鉄道各駅や郵便局にも置かれています。新聞掲載後は「ちくま未来新聞Web版」でバナー広告として表示されます。

紙面の記事下段に3種類の大きさの広告枠をご提供いたします(一例)

大(102mm×124mm)	22,000円
中(50mm×124mm)	11,000円
小(50mm×62mm)	5,500円

【お問い合わせ】
☎FAX026-214-7905
e-mail info@ckm-mirai.org

みみより情報

ちくま未来新聞では新たに(一社)ちくま未来戦略研究機構の活動趣旨に沿った内容に限定して、イベントや募集などの案内について掲載する「みみより情報」のコーナーを開始しました(有料)。告知したいイベントや、お知らせなどがありましたら、お気軽にお問い合わせください。
【お問い合わせ】FAX 026-214-7905 mail info@ckm-mirai.org
【料金】1行/16文字につき500円・税込(※長文は応相談)

【第30回千曲市民混声合唱団 定期演奏会】

今年設立30周年を迎えた千曲市民混声合唱団では、いま演奏会に向けて団員たちが練習に励んでいる(写真)。記念の第30回定期演奏会は2部構成で、1部が混声三部合唱組曲。2部では前回のアンケート結果を受け、上位の15曲を発表する予定。
(日時)10月26日(日)開場13時30分
開演14時(入場料)500円※中学生以下は無料(会場)信州の幸あんずホール(プレイガイド)信州の幸あんずホール/西沢楽器
お問い合わせ 090-1506-4059(杉木)



ものづくりフェア千曲2025

地域の製造業などの企業展示会「ものづくりフェア千曲2025」が戸倉創造館で9月4日から6日まで開催された。同展示会はものづくりネット千曲と千曲市の共催で昨年続いて2回目となる。今年は昨年より2社多い26社が出展した。初日から2日間、市内の中学2年生とものづくりネット千曲会員の限定公開で、最終日は一般にも公開された。会場内は千曲市の地図に見立てた配置に



金属プレートの加工を体験



加工食品を使った計量に挑戦

加倉白雄とおもかげ塚展

森 獺郎板画展

蕎麦料理処 萱(RAUM戸倉宿)

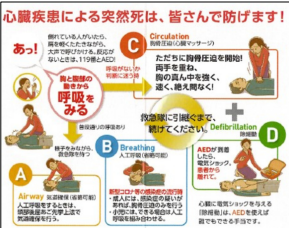
戸倉駅前にある蕎麦料理処・萱のRAUM戸倉宿で現在「加倉白雄とおもかげ塚展」が開催されている。加倉白雄は江戸中期の俳人で上田藩士加倉家の次男として江戸深川の屋敷で生まれた(本名は吉春)。芭蕉以後、衰退していた俳諧を再び隆盛させ、俳諧中興の祖と評価されている。信州の俳人たちと明和6年(1769)姨捨に面影碑を建て、翌年記念集『おもかげ集』を出版した。

今回の展示会では千曲市出身の板画家(ばんがか)・森 獺郎さんが「おもかげ集」と「田毎の月」から句を選び、完成させた板画を公開。期間は11月2日まで(入場無料)。



国際ソロプチミスト千曲「救急の日」心肺蘇生法の啓発活動

9月9日は救急医療や救急業務への理解と認識を深める「救急の日」。国際ソロプチミスト千曲では毎年街頭で心肺蘇生法カードの配布を行い、啓発に努めている。今年も千曲市と坂城町のしなの鉄道の4駅(戸倉駅、屋代駅、屋代高校前駅、坂城駅)で通勤客や学生らに呼びかけ、千曲坂城消防本部と千曲中央病院の職員らとともにカードを手渡した。カードには救急車が来るまでの応急処置やAEDの使用法が解説されている(下図)。ほかにも10月1日から全国で開始する「マイナ救急」の告知カードも配布された。第28期会長に就任した小宮山嘉代子さんは「この日が身近な人の事故や災害時に命を守るきっかけになれば」と話す。



あんず室内合奏団定期演奏会

9月21日、信州の幸あんずホールであんず室内合奏団の第24回定期演奏会が開催された。二部構成で第一部はモーツァルト作曲・ディヴェルティメントKV136、ブリテン作曲シンフルシンフォニーを演奏。第二部では映画音楽特集としてアニメ「銀河鉄道999」や「ニューシネマパラダイス」のテーマ音楽のほかデイズニー映画のナンバーをラインナップ。さらに巨匠ジョン・ウィリアムズの手がけたハリウッド映画「スターウォーズ」「インディ・ジョーンズ」「ジュラシックパーク」「シンドラーのリスト」のテーマ曲など名曲の数々を披露した。



戸倉上山田中学校3年5組 千曲市産りんごの調査

戸倉上山田中学校の3年生は総合的な学習の時間を使って郷土について学んでおり、それぞれのグループが興味を持った分野を選んで調査を続けている。3年5組では8人のグループが千曲市産のりんごについて学習することになった。グループでは地元の人たちが千曲市のりんごについてのイメージを持っているのかを知るためにアンケートを企画、戸倉地区のスーパーに協力を呼び掛けてポスターなどの掲示を行った。アンケートはネット上からアクセスする形式で「りんごの購入時のポイント」や「好きなりんごの料理」について尋ねる内容になっている。来年度1月には学習成果を発表することになっており、グループリーダーの西澤花央さんは「ぜひ大勢の皆さんにアンケートに協力してもらいたい」と話している。



戸倉上山田中学校3年5組の生徒たち(写真)アンケートリンク先二次元コード(下)



名月堂(戸倉)×Turkey! アニメ『Turkey!』ファンが全国から聖地巡礼に

テレビ信州の放送も最終回目前の千曲市ご当地アニメ「Turkey!」。作中に登場した名所には全国からアニメファンや声優ファンが「聖地巡礼」に訪れている。主要キャラクターの実家に設定された戸倉の老舗和菓子店「名月堂」ではキャラクターを演じた声優の岩田陽葵さんが一日店長を務めた。当日は全国から200人弱のファンが詰め掛け、予定より2時間も超過したという。取材当日には和歌山県から来たという男女も来店していた。名月堂代表の市川誠司さんによると「まだキャラクターのステッカーも配布しています」とのこと。放送終了後に行われる信州千曲観光局のスタンプラリーの企画も参加する予定だそう。



アニメの設定に採用された名月堂



主人公グループのキャラクターの一人「一ノ瀬さゆり」のグッズ



信州そば処 一松亭 全景

一松亭 滝沢食品株式会社

電話 026-272-0333

信州そば処



長野県千曲市大字屋代2783 電話(026)273-1102
営業時間 午前11時から午後8時(午後7時半ラストオーダー)
定休日 水曜日(但しGW・お盆・年末年始・その他祝日の水曜日は営業)

ハ光グループ

www.hakko-grp.jp



株式会社ハ光
株式会社ハ光電機
株式会社ハ光エンジニアリング
株式会社ジザイ
株式会社ザバ

岡山ハ光商事株式会社
長野ハ光商事株式会社
名古屋ハ光商事株式会社
株式会社ハ光興発

ハ光商貿(上海)有限公司
ハ光電熱器件(上海)有限公司
HAKKO (THAILAND) CO., LTD.
笹屋ホテル

第14回 いな福まつり

近隣住民と交流

9月20日、社会福祉法人いなりやま福祉会による恒例のイベント「いな福まつり2025」が開催された。オープニングでは来場者と共にカウントダウンで花火が打ち上げられ、千曲さざなみ太鼓の演奏で幕を開けた。メイン会場の満天の星ではステージイベントにチアダンスや一輪車、手話コーラスなどが登場。屋内のマルシェでは市内外の福祉団体がお菓子や弁当、麺類のほか野菜、果物なども販売した。人気のバザーには大勢



オープニングを飾った千曲さざなみ太鼓

山の生活体験交流会

射水市の小学生が千曲市を訪問



千曲市と姉妹都市の富山県射水市の小学生による山の生活体験交流会が9月20日から21日まで1泊2日で行われた。8月に射水市側がホストで行われた海の生活体験交流会に続き、今回は千曲市で市内の小学6年生23人と射水市児童クラブの18人が参加した。初日は科野の歴史史公園内でバスで到着した射水市の児童らの歓迎式典を開催。千曲市代表で挨拶をした屋代小学校の諸井那音くんが「射水市の皆さんと交流してたくさん思い

出を作りたい」と歓迎の言葉を述べた。児童らは滞在中6つのグループに分かれて行動。森將軍塚古墳館では勾玉づくりに挑戦し、古墳と古墳館内を見学した。千曲坂城クラブ・HSCのメンバーの中学生が解説を補助した。宿泊は大池の自然の家でオリエンテーションを行い、夕食はグループごとにカレーを作った。21日には戸倉に移動し、かけはしの会の協力で郷土食の薄焼きなどを調理した。



物産館では古代米のお弁当で昼食



森將軍塚古墳館を見学する児童ら

長野信金×屋代南高×色部米集

税理士の出張講座

今年5月にスタートした屋代南高校の生徒が地元老舗おやき店の新メニュー開発に取り組みプロジェクトが大詰めを迎えている。フードデザインコースの生徒たちは桜堂の色部米菓のおやき講座を受講して、夏休み中も商品の考案を続けてきた。9月19日にはプロジェクトをサポートする長野信用金庫地域みらい応援部が、商品の販売価格を決定するための出張講座を開講。長野市篠ノ井の税理士法人の協力で原価計算の考え方について学んだ。

講師を務めた税理士の鶴沢裕さん「おやきから学ぶ会計と経営の考え方」と題し、おやきの新商品でどうやって売上と利益を確保するかを提示。「顧客数」と「客単価」と「来店数」を上げることが必要と説明して、原材料費が値上がりするなか価格設定



税理士の鶴沢裕さんによる販売価格に関する出張講座

稲荷山ジャズフェス

ジャズと寺と蔵町



9月14日、稲荷山の極楽寺境内で「稲荷山ジャズフェス」が行われた。昨年の長雲寺に続き2回目の開催となる。本堂のメインステージは戸上スマイルズの演奏からスタート。続いて千曲市消防団ラッパ分団、信州大学ジャズ研究会が登場した。治田小学校の金管バンドのステージの前には一時強い雨が降ったものの、午後の部も無事にプログラムが進行した。

2050 信州ゼロカーボンチャレンジ 増生小学校の児童が学習

二酸化炭素などの温室効果ガスが2050年までにゼロにする「ゼロカーボン2050」の取り組みに増生小学校の児童が挑戦した。同学校での取り組みは今年で3年目。9月11日には6年生が数人の班に分かれて発電に挑戦。風力、水力などの発電の仕組みを学んだほか、エアロバイクを使い、実際に自分たちの体力で扇風機やおもちゃを動かす自家発電に挑戦した。

オープニングでベジチェック

ちくま未来新聞 配送サービス

新サービス料金 年間3,000円

お申込みは、氏名・連絡先、送付先氏名・連絡先を明記の上、事務局宛お申し込みください。 TEL・FAX 026-214-7905 email info@ckm-mirai.org



エアロバイクで発電に挑戦



OPEN / 7:00~16:00



高齢者
活躍人材確保
育成事業

助け合い講習
～みらいを守ろう～

参加条件 千曲市・坂城町在住の概ね60歳以上の方
※シルバー人材センターに入会 [年会費2,500円] が必要です。

参加費
無料

第2回 10月23日 10:00~11:30 定員10名
ふまねっと運動
加齢とともに衰え始めた心身のバランスを整え
認知機能を向上させましょう。
講師 清泉大学看護学部 准教授 齋藤 正子先生
場所 更埴シルバー人材センター 会議室

第3回 11月19日 9:30~11:30 定員10名
ポリ袋を使ったパッククッキング
普段の料理や災害時にも役立つ、
ポリ袋を使った料理を作ります。
講師 長野県栄養士会 管理栄養士 宮島 京子先生
場所 戸倉創造館 調理室

申込み・問い合わせは、電話もしくは窓口まで ◎定員になり次第締め切ります

高齢者活躍人材
確保育成事業とは 高齢者の就業を推進するため、広報活動、就業体験、技能講習などを通して、高齢者・企業
様双方のシルバー人材センターに対する理解を深めていただくことを目的としています。

公益社団法人
更埴地域シルバー人材センター 本所 ☎026-272-5630
〒387-0011 千曲市大字杭瀬下820番地3

歌壇

安曇於保奈 選

【秀逸】

残暑見舞の絵手紙なども来ぬ晩夏静かに去りてゆくものひとつ

百合

【佳作】

盆休み元氣な孫のはしゃぐ声聞こえてますか空のかあさん

甘利眞澄

孫たちがお盆にやってきた。はしゃいでいる元氣な姿に、作者は亡き妻に孫たちは元氣だよ、聞こえるかいと心

【秀逸】

太陽が落ちて来たかと被爆者は原子爆弾それほどのもの

宮坂若子

【入選】

本棚の隅で見つけたシナリオに渋谷の小さきキネマの匂い

湯本孝一

はや一年まだ生きている今ここに口で言わぬが妻には感謝

小橋浩樹

薄紅の花を咲かせし駒草に幾度もくぐりし冠雪の季

中村邦久

我が家のやんちゃ坊主は帰京して庭のプールにトンボ飛び交う

中村妙子

本屋さんの小さな椅子に拠りかかり楽しいおしゃべりわたしの居場所

倉石みつる

【応募要領】

■官製はがきに三首まで(二重投稿は不可)

■住所・氏名・電話番号を付記

■締め切り毎月十日

■宛先〒387-0012 千曲市校舎521 屋代西沢書店2階 ちくま未来新聞 歌壇係

坂木宿ふるさと歴史館

8月31日まで坂木宿ふるさと歴史館内に「戦後80年企画展 戦争とさかき」のコーナーが設けられた。坂城町の一般家庭から提供された史料をもとに、日清戦争から太平洋戦争に至る間の時代性や戦争と庶民の関わりが紹介された。戦死した兵士の日記や遺族に贈られた簡略な木札は戦争の虚しさを考えさせられる。

戦後80年企画展 戦争とさかき

千曲市内モニュメント巡り(第2回)

屋外彫刻(パブリックアート)は1980年代から自治体がまちづくりを目的にアート作品の設置事業を推進したため全国的に増加した。千曲市内の屋外彫刻も同時期の設置だが、長年の風雪や日光などの影響で劣化も進行しているのが現状だ。多摩美術大学との「モニュメント制作協定」により市内に設置された学生たちの作品のうち更埴中央公園にあった一作品(「時」昭和61年度制作)は錆や腐食が進んだため今年2月に姿を消した。

作者の制作意図は「風を受けることにより彫刻が変化し、見る者も同じ時空に立っているという、視覚だけではない触覚的な体験を感じて欲しい」という時の移ろいを表現するものだったが、土台から落下する危険性が高まったため止む無く撤去されることとなった。芸術作品を継承していく維持管理と安全性の担保の両立は難しい課題であるといえる。

北国街道 歴史こぼれ話(第1回)

古くから信州と日本海側を結ぶ物流により栄え、諸藩の参勤交代時の経路でも知られる「北国街道」。そのルートは国道18号線や、しなの鉄道の路線とおおむね並行している。

北国往還とも呼ばれ、徳川家康の六男・松平忠輝が松代城主となった慶長8年(1603)から同15年(1610)にかけて制定された。

起点は五街道の一つ中山道の追分宿(現・軽井沢町)から分岐し、越後の高田城下(現・上越市)を終点とする。現在の坂城町・千曲市には南から鼠宿、新地宿、坂木宿、上戸倉宿、下戸倉宿、矢代宿といった宿場が存在した。上田市と坂城町との境界に位置する「岩鼻(いわばな)の險」は千曲川の両岸で道が狭まる交通の難所であった。江戸期には上田藩と松代藩の境界に当たり、松代藩では南条・鼠の地に口留番所を設置した。鼠宿口留番所は数ある番所

(右)当時の鼠宿番所

(「坂城町誌 中巻」より)

のなかでも重要視され、関所に準ずる扱いとして人改め(通行人の取り調べ)まで行っていたという。

本稿では鼠宿から矢代宿(千曲川の「矢代の渡し」)までの区間を結ぶ歴史や伝承のエピソードを紐解く。今回は明治11年(1878)の明治天皇巡幸の史跡を紹介する。

山の瀧澤建設は地域に根ざした建築会社です。私たちは、お客様が安心安全で快適に暮らせる長野県産材での家づくりにこだわります。

株式会社

山の瀧澤建設

YAMANOTAKIZAWA CONSTRUCTION

〒387-0015

千曲市鋳物師屋219-3

TEL: 026-274-2703

くすり屋の養生メモ

タカチ薬局 高地博実

～スマホ急性内斜視にご注意～

スマートフォンやゲーム機を近距離で長時間見続けることが原因で発症する「急性内斜視」という病気があります。特に若い世代での発症が急増しており注意が必要です。この病気は目が内側に寄ってしまい、遠くを見るのが困難になったり物が二重に見えるといった症状が現れます。

予防のポイントは、

・画面は目から30cm以上離す

・30分ごとに目を休ませる

・使用時間減らす工夫を

～定休日及び営業時間が変わりました～

・月～金曜日

8:30～13:30 14:30～18:00

・第2、4、5土曜日

8:30～13:30

定休日 第1、3土曜日 日・祝祭日

千曲市内川801-1

タカチ薬局

サッカー

Jリーグ ディビジョン3

AC長野パルセイロ

千曲市ホームタウンデー

AC NAGANO PARCEIRO

VS・北九州戦

コラボ商品は完売

8月30日の千曲市ホームタウンデーではTVアニメ「Turkey」とのコラボイベントを開催。千曲市も特設ブースを出店した。試合前に行われた出演声優の菱川花菜さんと天麻ゆうきさんのトークショーには大勢のファンが詰め掛け、コラボグッズは完売。試合は北九州に先制され、追う展開のなかアディショナルタイムで同点に追いつきドローとなった。9月13日の鳥取戦も引き分けたが、7月の山雅戦の後には7試合未勝利が続くJFLへの降格圏付近から抜け出せずにいる。

AC長野パルセイロ J3 10月日程(ホーム)

4日(土) 14:00~
vs ツエーゲン金沢
13日(月) 14:00~
vs カマタマーレ讃岐
25日(土) 14:00~
vs アスルクラロ沼津

パルセイロレディース 10月日程(ホーム)

5日(日) 18:00~
vs 三菱重工浦和レッズレディース
18日(土) 14:00~
vs ちふれASエルフェン埼玉

フットサル

フットサルリーグ ディビジョン1

ボアルース長野

元ブラジル代表・ガリンシャ選手を獲得

BOALUZ NAGANO

ガリンシャ選手(9月12日)

三笠キャプテン(右)も同席

ボアルース長野が大型補強を敢行

9月8日、ボアルース長野はブラジル代表経験を持つガリンシャ選手の獲得を発表。12日に記者会見を行った。ガリンシャ選手は33歳でサンパウロ出身、利き足は左のF/P(フィールドプレーヤー)。Fリーグではフウガドルすみだとバルドラール浦安で合計6年間のプレー経験を持つ。ボアルースにとっては初めての外国人選手の獲得、および初のプロ契約選手となる。

会見で山崎一弘監督は「ピッチのなかでのポテンシャルは間違いないものがある。早く彼が馴染んで力を最大限発揮できる環境を用意したい」と期待をかけた。また、三笠貴史キャプテンとは浦安時代のチームメイト。「すごくリスベクトしている(ガリンシャ選手)」とのことで親しい間柄だという。長野については「F1にいるべきチームだと思う。ファンには早く結果を出して勝利を分かち合いたい」と語った。「長野はすぐ将来のことを考えているチーム。自分自身は経験を多く持っていると思うので、そのプロジェクトで目指しているところに貢献できれば」と話すガリンシャ選手。近く家族も来日予定で「長野の町はすごく住みやすい街だと思う」と微笑んだ。リーグ戦再開後から出場予定で、チーム躍進の原動力となりそう。

長野県リーグ 1部

リベルタス千曲FC

LIBERTAS FOOTBALL CLUB

順位決定リーグで優勝争い

北信越リーグ2部へ昇格となる。

県リーグは上位4チーム総当たりのエキストラリーグ(順位決定リーグ)に突入。首位のリベルタス千曲は最終戦で2位で追う飯島FCに1-6で敗れた。そのため、優勝の行方は9月27日に行われる飯島FCとF.C.バイオレッツの最終戦の結果次第となった。バイオレッツが引分以上でリベルタスの優勝が決まる(結果は編集時点で不明)。10月から始まる北信越リーグのチャレンジャーリーグは各県リーグ優勝チームによる総当たり戦。2位以内に入れば、北信越リーグ2部へ昇格となる。

vs MJ's club

(9月7日 千曲市サッカー場)

エキストラリーグ最終順位 9/14時点(8チーム中上位4チーム)

順位	チーム名	勝点
1	リベルタス千曲FC	25
2	飯島FC	22
3	F.C.バイオレッツ	13
4	MJ's club	12

ボアルース長野

10月試合日程(ホームゲーム)

BOALUZ NAGANO

試合会場 ことぶきアリーナ千曲

5日(日) 14:00~
vs 立川アスレティックFC

【後半戦のみどころ】

9月に行われた昨季成績上位6チームによる「Fリーグカップ」は名古屋が優勝。現在リーグ戦首位の貴録を見せた。長野は9月29日の後半戦の初戦をアウェイで2位のしながわシティと対戦する。格上チーム相手にジャイアントキリングを決め、後半戦を波に乗りたい。

バレーボール

V.LEAGUE女子

信州ブリリアントアリーズ

10月18日開幕戦

Shinshu Brilliant Aries

ホームゲーム日程(10月)

会場: 上田市自然運動公園体育館

18日(土) 14:00~
19日(日) 12:00~
vs 倉敷アブレイス

バレーボールの「V.LEAGUE女子」が10月18日に開幕。信州ブリリアントアリーズはホームで開幕戦を迎える。昨季Vリーグで初優勝を果たし連覇を目指すアリーズ。千曲市出身の上島彩季選手のVリーグデビューにも注目したい(千曲市大会は来年3月7日と8日開催予定)。

信州ブレイブウォリアーズ

2025/26シーズンが開幕へ

プロバスケットボール B2リーグ

ホームゲーム日程(10月)

会場: 長野ホワイトリング

4日(土) 16:05~
5日(日) 14:05~
vs 山形ワイヴァンズ
18日(土) 14:05~
19日(日) 14:05~
vs 横浜エクセレンス

信州BWは8月31日、長野市芸術館で新体制発表会を開き、勝久監督と選手が10月4日に開幕するB2リーグに向けて意気込みを語った。来年秋にはBプレミアリーグに移行するためBリーグでの最終シーズンとなる。来年2月14日・15日にはことぶきアリーナ千曲で試合を開催。

祝日プラン(食事付・税込)

スポーツの日

10/13(月)

メンバー 10,000円

文化の日

11/3(月)

メンバー 9,600円

通常料金

平日	9,700円
火曜日	8,000円
土日祝	14,000円

(食事付・税込)

※ メンバーとご同伴のゲストの皆様を上記料金にてご優待いたします。

※ 予約時にプラン名をお知らせ下さい。申告がない場合は通常料金となります。

千曲高原カントリークラブ

〒387-0023 長野県千曲市八幡2
TEL 026-272-2490 FAX 026-273-1520

丸善食品工業株式会社

MARUZEN

～食文化を創造する企業～

かに

白がゆ